

令和6年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立東調布第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「読むこと」の領域において、目標値を大きく上回る結果が出た。具体的には、「単語の読み」「アルファベットの読み」「英文の完成」に関する問題がよく解けており、チャンツやミニゲームなどの様々な方法で単語を話す練習をしたことが知識習得となり、結果につながったと考えられる。
- ・「知識・技能」の観点において、目標値を上回った。動画視聴や教科書のアクティビティを活用し、多様な表現に慣れ親しんだことが、児童の知識習得につながったと考えられる。

(2) 課題

- ・「英作文」の小問で、わずかに目標値を下回った。相手に伝えるなどの目的をもって、自分に関する簡単な事柄について、慣れ親しんだ語句や表現を用いた書く活動の実施が不十分だったと考えられる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年			
第5学年			
第6学年	※第5学年では測定していないため、結果はなし。		

(2) 分析（観点別）

① 第4学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

② 第5学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

③ 第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を 10.8 割上回った。設問別に見ると、26 問中 25 問の正答率が目標率を上回り、全体として「思考・判断・表現」はよく身に付いていると言える。「アルファベットの書き（大文字）」の小問で目標値をやや下回っている。	目標値を 8.3 割上回った。設問別に見ると、15 問中 13 問の正答率が目標率を上回り、全体として「思考・判断・表現」はよく身に付いていると言える。「英作文」の小問で目標値をやや下回っている。	目標値を 3.2 割上回った。設問別に見ると、「英文の完成」の小問で目標率を上回り、「英作文」ではやや下回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・四線を使い、高さに注意して正しい形でアルファベットの大文字と小文字を書くことを指導し、技能を身に付けさせる。	・身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を活用し、語順を意識しながら書く活動を設定する。	・英語を使用している人々を中心とする世界の人々の生活や伝統文化、自然などに関するものの中から、児童の発達段階に適切な題材を選び、児童の興味・関心を高める。

4 重点指導事項

○自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。その際は四線が書かれている用紙を使い、正しい形のアルファベットを書けるように指導をする。（知識・技能）

○自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養うために、児童が学習した表現を自発的に発する機会を設定し、ペアワークやグループワーク、スピーチを行う。（思考・判断・表現）

○他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うために、教科書の内容や動画視聴を通して、外国語の背景にある文化に対する理解を深める活動を行う。（主体的に学習に取り組む態度）